

# UCSサーバでのWindows用インストールガイド

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[バックグラウンド情報](#)

[設定](#)

[インストールISOイメージのマウント](#)

[Windows OSのインストール](#)

[ローカル \( Local \)](#)

[リモート \( SANからのブート \)](#)

[ドライバのインストール](#)

[デバイスマネージャを使用してドライバをインストールします](#)

[CLIを使用したドライバのインストール](#)

[トラブルシュート](#)

[リモートディスクにWindowsをインストール中のエラー](#)

[再起動後にサーバがシェルに移行する](#)

[ベースシステムデバイス](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、KVMコンソールを使用してCisco UCSサーバにWindows 2025をインストールする手順について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Intersight管理モード。
- サーバプロファイルのブート順序ポリシー。
- [Cisco UCSハードウェア互換性リスト](#)を使用して、すべてが準拠していることを検証します。

### 使用するコンポーネント

- Cisco UCS 6454ファブリックインターフェクト
- Cisco UCSX 210 M7
- Windows 2025 ISOファイル

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリーン（デフォルト）設定で開始されています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## バックグラウンド情報

ベアメタルサーバは、1つのテナントまたは顧客専用の物理サーバです。仮想化テクノロジーによって物理マシン上のリソースを共有する仮想サーバとは異なり、ベアメタルサーバでは、CPU、RAM、ストレージ、ネットワーク接続などのサーバのハードウェアリソースを完全に制御できます。

つまり、オペレーティングシステムとハードウェアの間に仮想化レイヤが存在しないため、パフォーマンスとリソースの使用率を最大限に高めることができます。

ベアメタルサーバは、高いパフォーマンス、セキュリティ、およびカスタマイズの利点を提供し、負荷が高く、特定のコンプライアンス要件を持つ企業に最適です。これらのサーバーで Windowsを実行すると、Windowsベースのアプリケーションのパフォーマンスをさらに最適化し、セキュリティとカスタマイズの機能を強化できます

## 設定

サーバは、ブート順序ポリシーを含むサーバプロファイルに関連付ける必要があります。このポリシーは、サーバのブート方法を指定します。たとえば、SANまたはiSCSIからのブートなど、ローカルまたはリモートにすることができます。

---

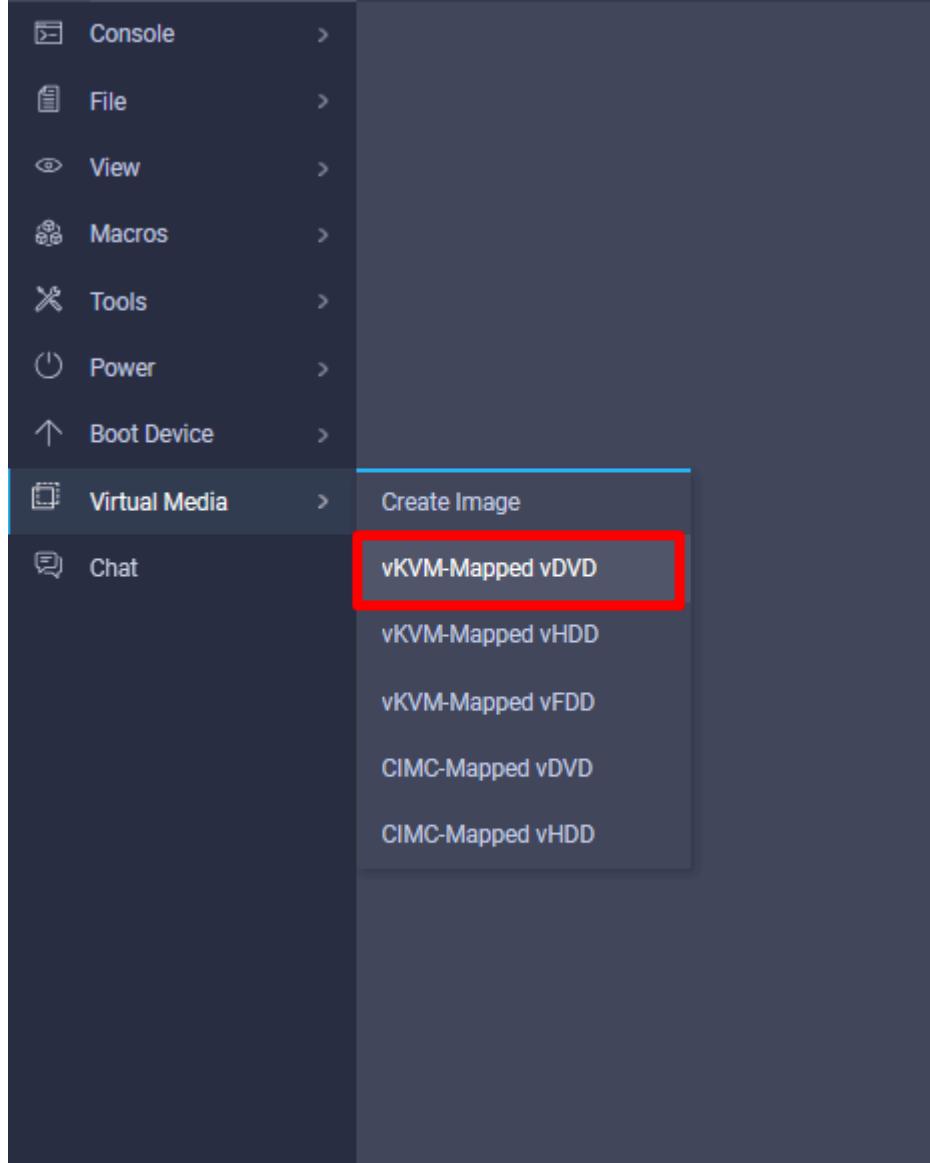
 注：インストール用のISOイメージをマウントする場合は、仮想メディアオプションをブート順序に含めることを検討してください。

---

### インストールISOイメージのマウント

ステップ1：KVMコンソールを起動します。Virtual Mediaタブに移動します。

さまざまなオプションを含むメニューが表示されます。[vKVM-Mapped vDVD] を選択します。



ステップ 2ローカルデバイスでisoファイルを参照します。選択したら、Map Driveをクリックします。

ステップ 3サーバをリブートし、ブートを中断します。ブートメッセージを確認し、ブートメニューに入るように求められたらF6キーを押します。

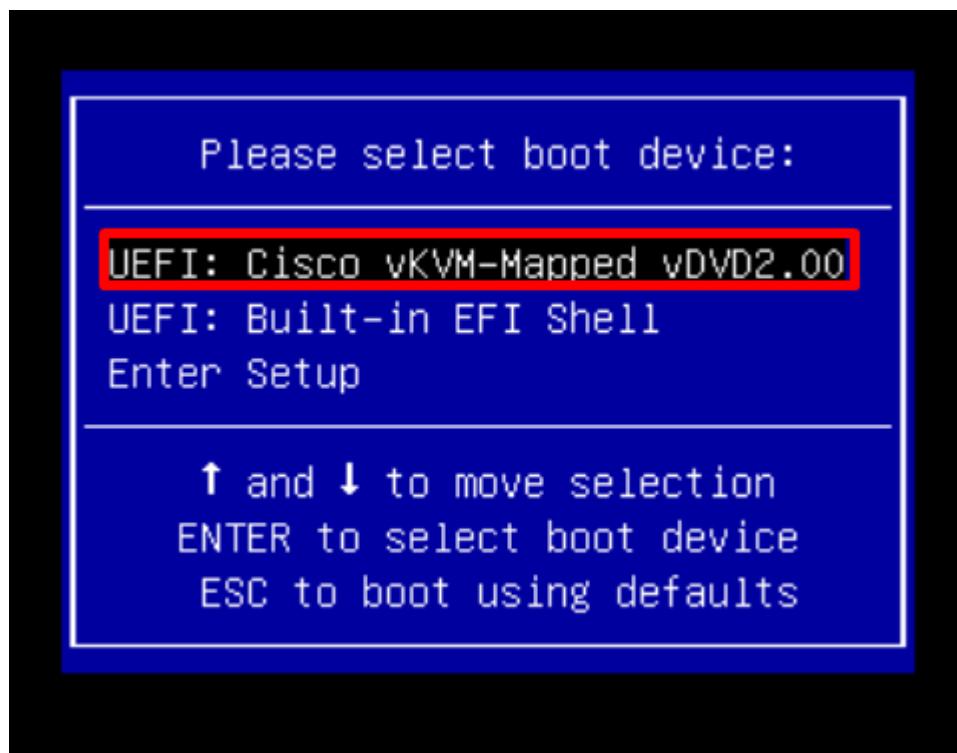


Copyright (c) 2023 Cisco Systems, Inc.

Press <F2> Setup : <F6> Boot Menu <F12> Network Boot  
Bios Version : X410M7.4.3.2c.0.0831230738  
Platform ID : X410M7

Processor(s) Intel(R) Xeon(R) Platinum 8490H  
\ Loading Marvell SCSI Driver 1.1.17.1002  
Total Memory = 256 GB Effective Memory = 256 GB  
Memory Operating Speed 4800 Mhz  
Entering Boot Menu ...

ステップ 4 Cisco vKVM-Mappedオプションに移動して、Enterキーを押します。



プロセスが正常に完了すると、Windowsブートマネージャ画面が表示されます。

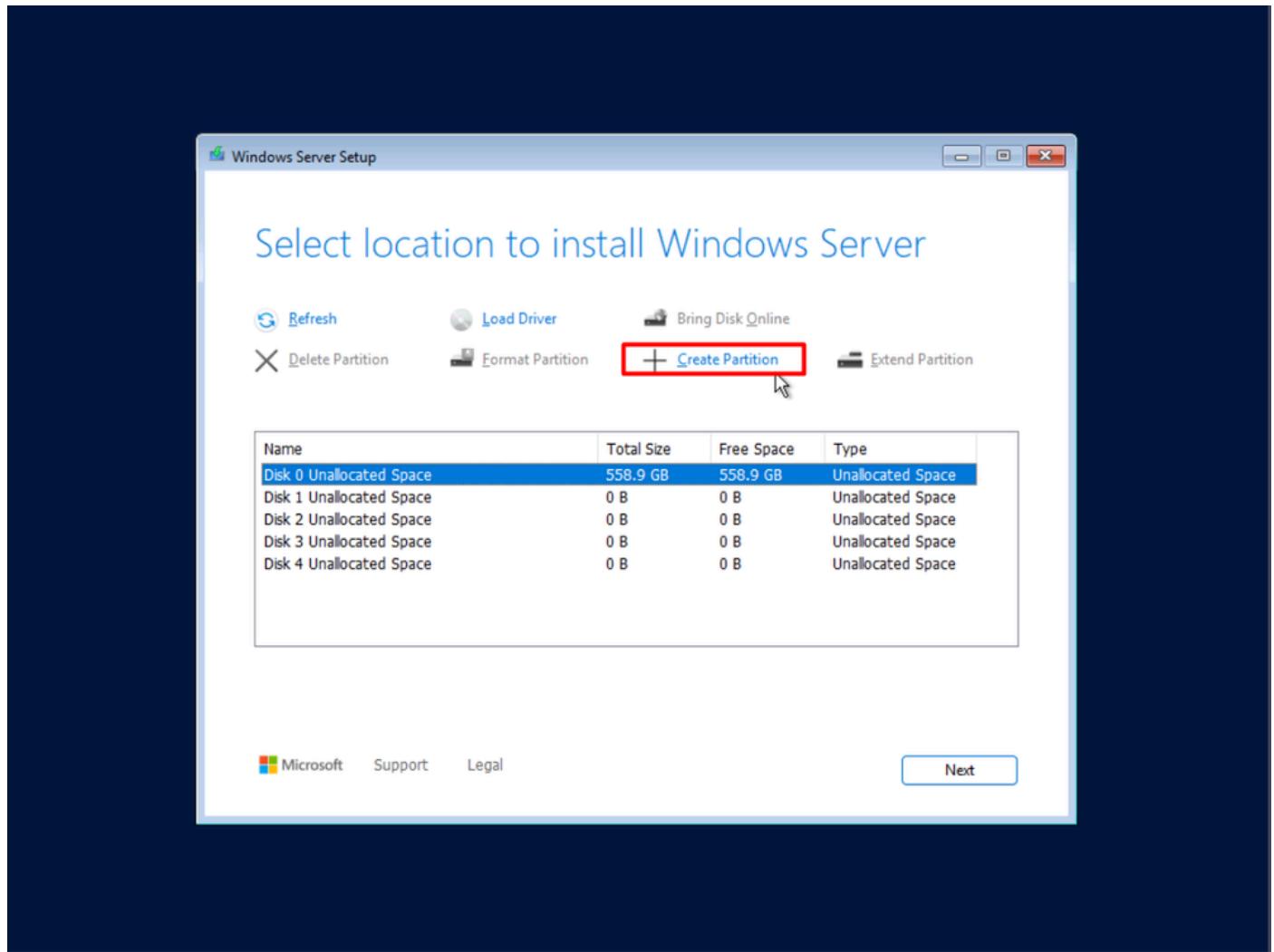
## Windows OSのインストール

### ローカル ( Local )

インストール可能なローカルディスクが表示されるまで、インストールプロセスを続行します。

ステップ1: ( オプション ) 必要に応じて、パーティションを削除および拡張します。

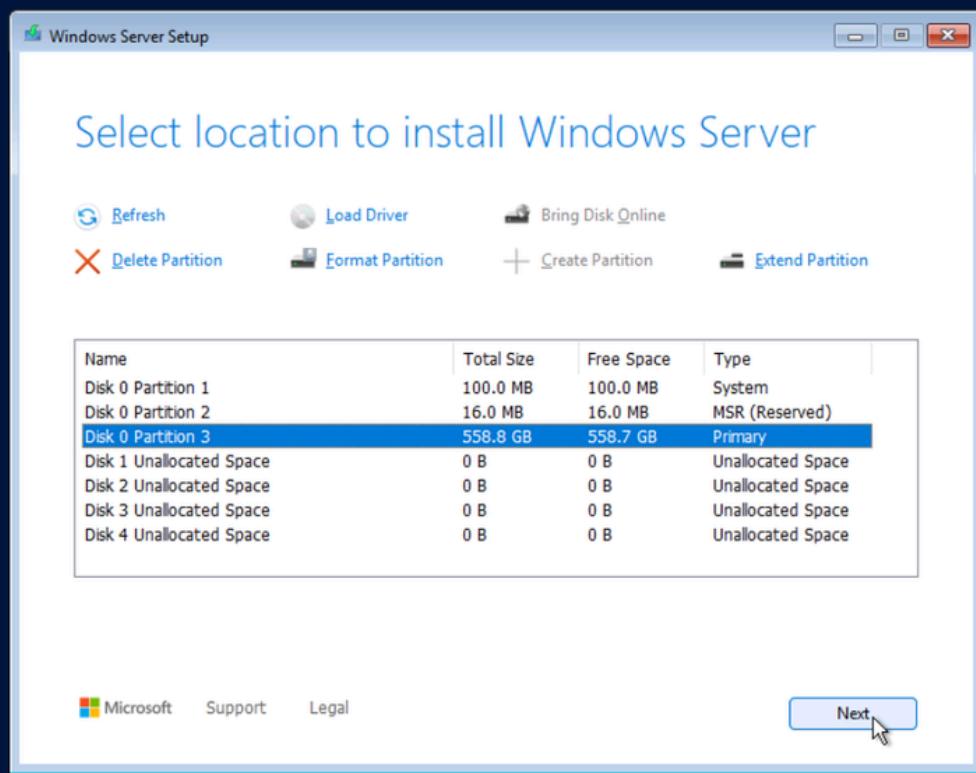
ステップ2: ディスクを選択し、新しいパーティションを作成してインストールできるようにします。正しいディスクを選択してください。



適切なインストールのためにWindowsが必要とする2つのパーティションが表示されます。これらはWindowsで予約されており、変更や削除はできません。

ステップ3: プライマリパーティションを選択します。

ステップ4: [Next] をクリックして次に進みます。会社の要件と標準に従ってインストールを完了します。インストールの進行状況を監視し、必要に応じてプロンプトに応答します。



## リモート ( SANからのブート )

SANからの正常なブートの前提条件 :

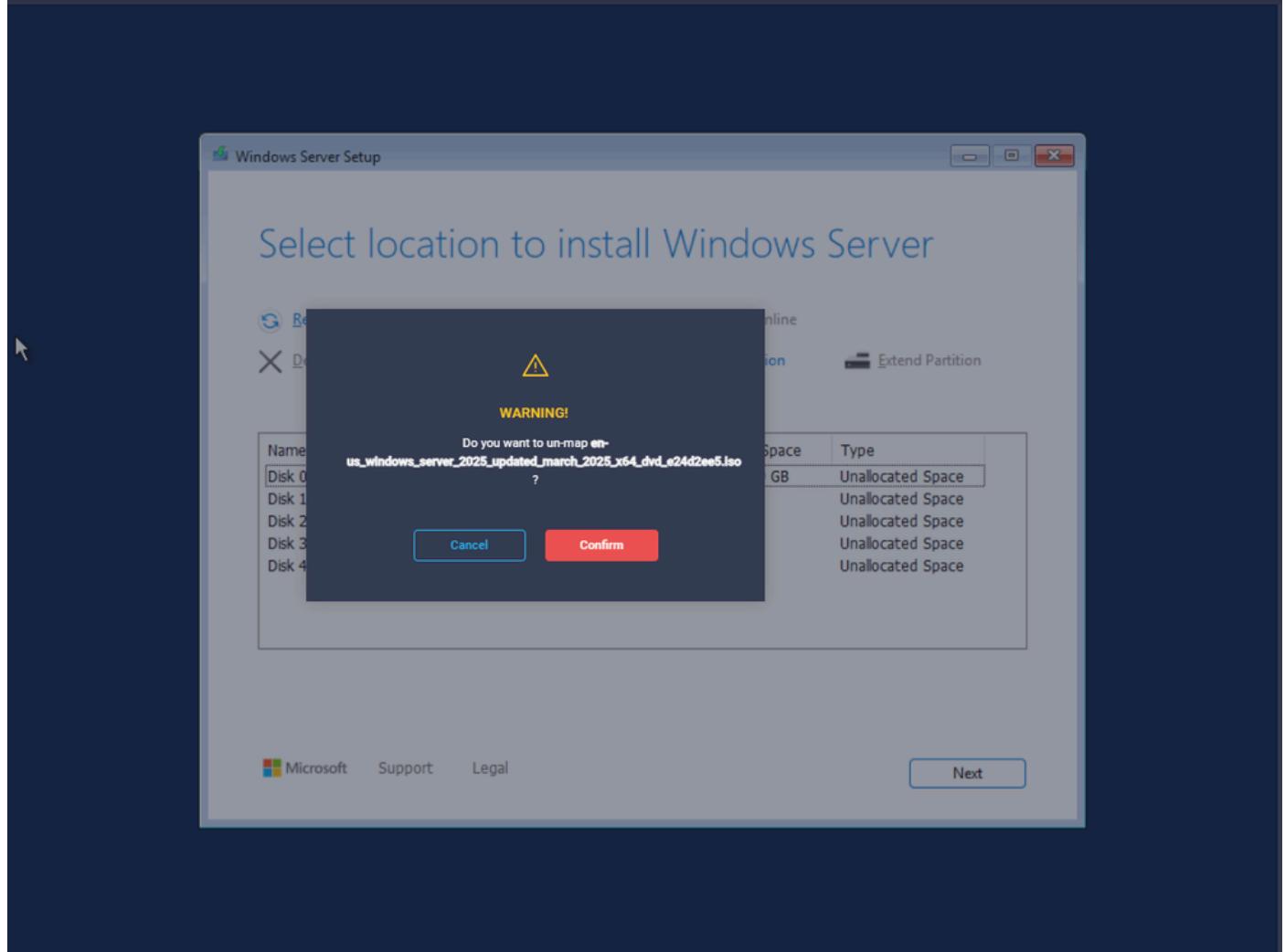
1. UCS ManagerまたはIntersight Managed Modeで設定されたブートポリシー。 詳細については、「[IntersightマネージドモードのSANからのブートの設定 – Cisco](#)」または「[UCS ManagerのSANからのブートの設定 – Cisco](#)」を確認してください。
2. SANアレイ上に構成されたマスキング。
3. ゾーニングが構成されている（該当する場合）

このシナリオでは、Windowsのインストールではローカルディスクのみを表示できます。対応するドライバが追加され、リモートディスクを表示できるようになります。

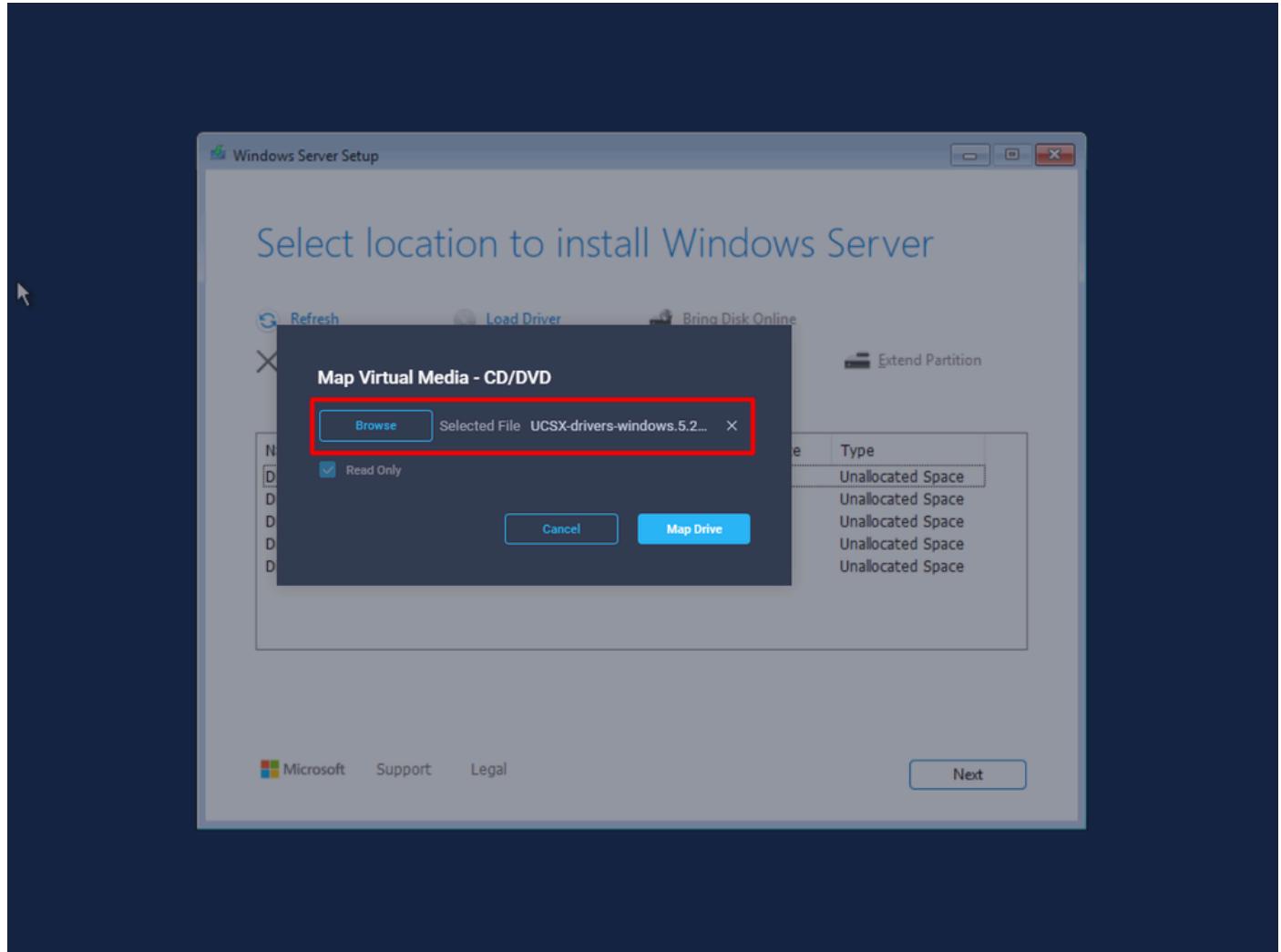
ステップ 1 : 「[UCSハードウェアおよびソフトウェアの互換性](#)」で、使用しているサーバのモデル、バージョン、および物理コンポーネントに対応するドライバを確認します。

[ソフトウェアのダウンロード](#)で、適切なISO/バンドルをダウンロードしてください。

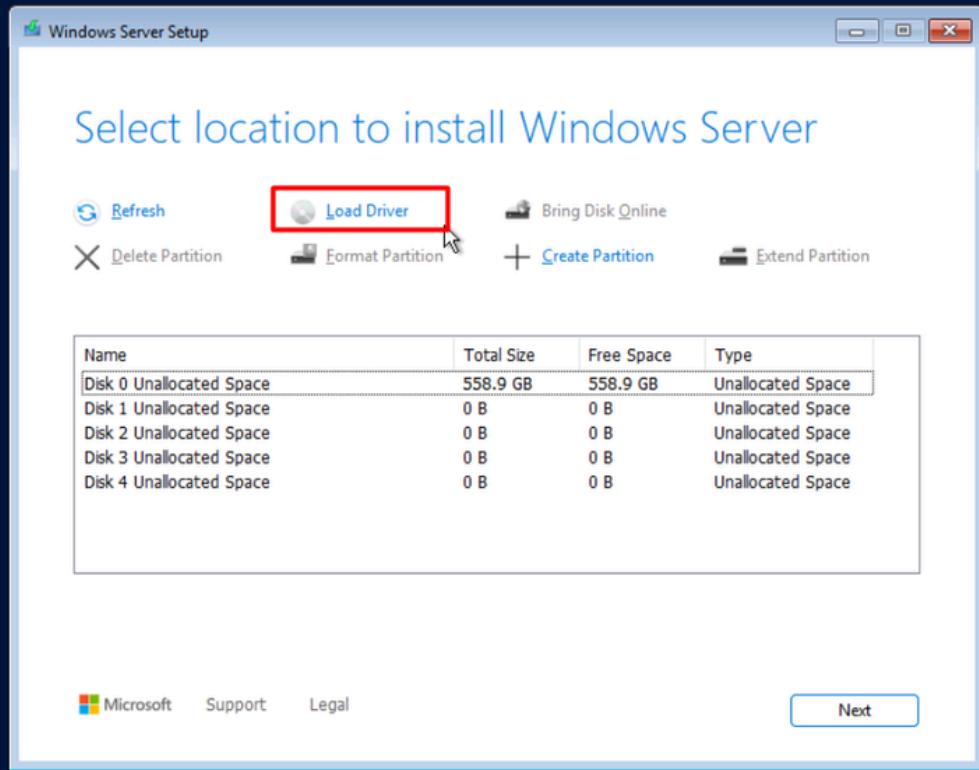
ステップ 2Virtual Mediaタブに移動します。vKVMマッピング済みvDVDからWindowsインストールイメージのマッピングを解除します。



ステップ3：ドライババンドルをマッピングします。

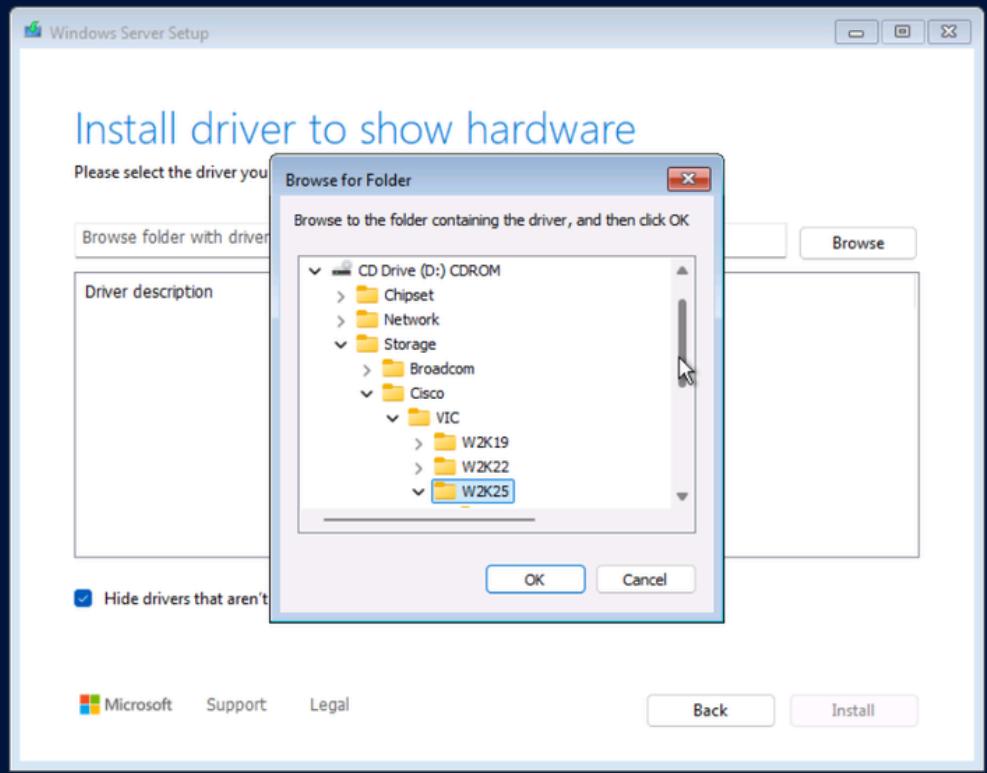


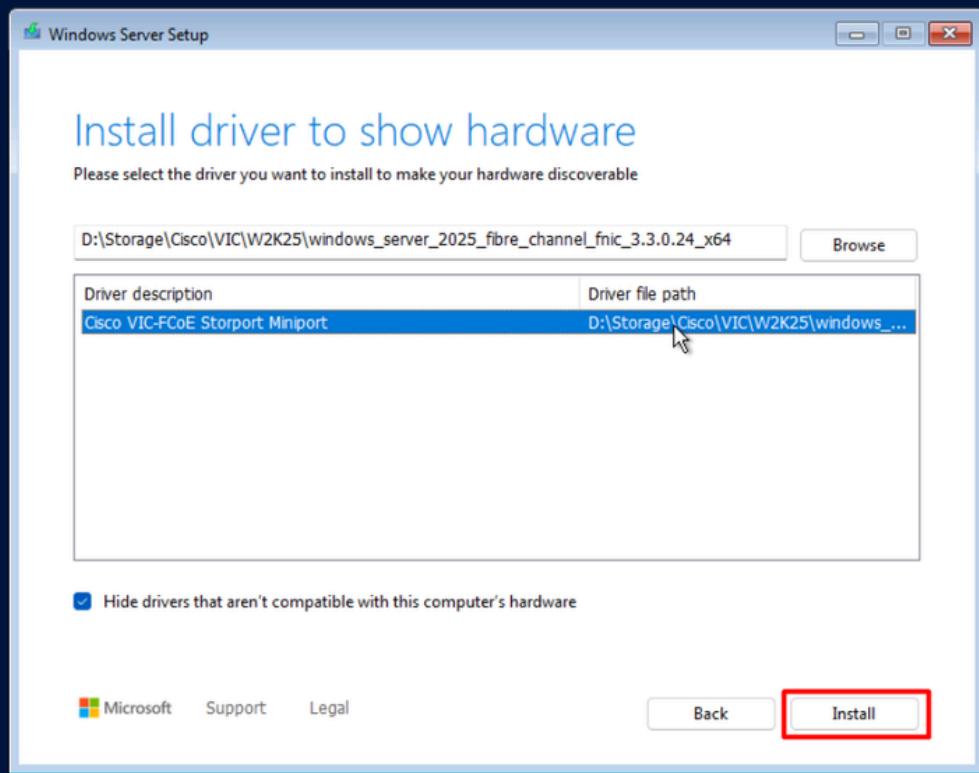
ステップ4Windows ServerセットアップでLoad Driveオプションをクリックします。



ステップ 5Storage > Cisco > VIC > WK25の順に移動します。ドライバファイルを選択し、OKをクリックします。

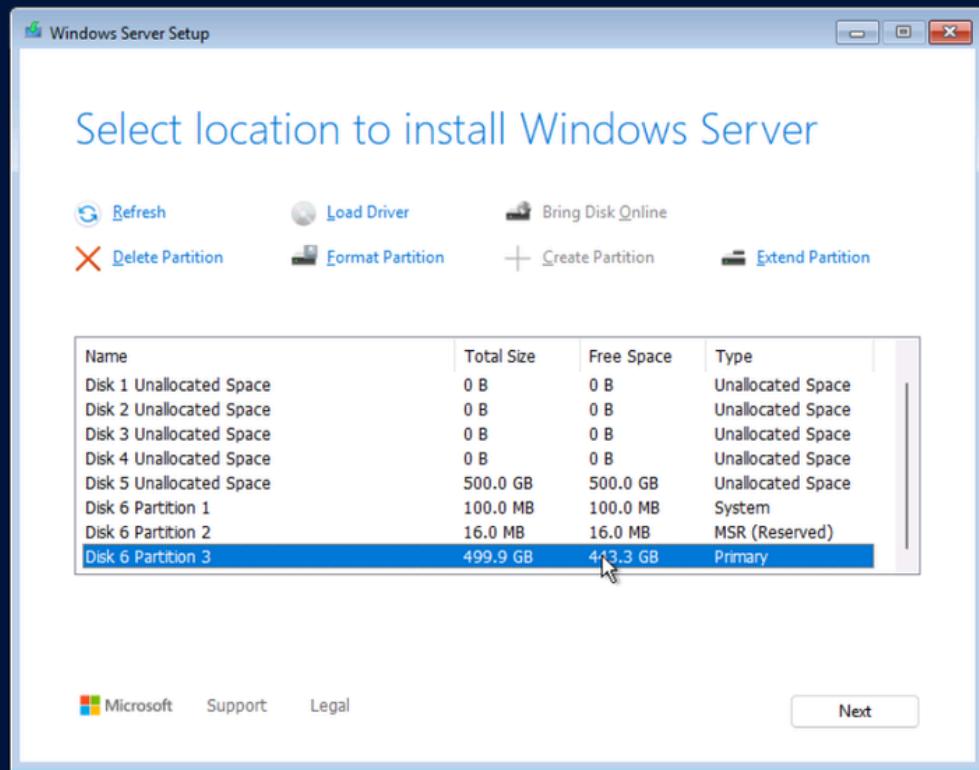
ドライバファイルパスが正しいことを確認して、Installをクリックします。





プログラムはディスクのスキャンを再開します。今回は、以前は見られなかつたりモードディスクが表示されます。

ステップ 6 インストールに使用するディスクを選択し、Nextをクリックします。



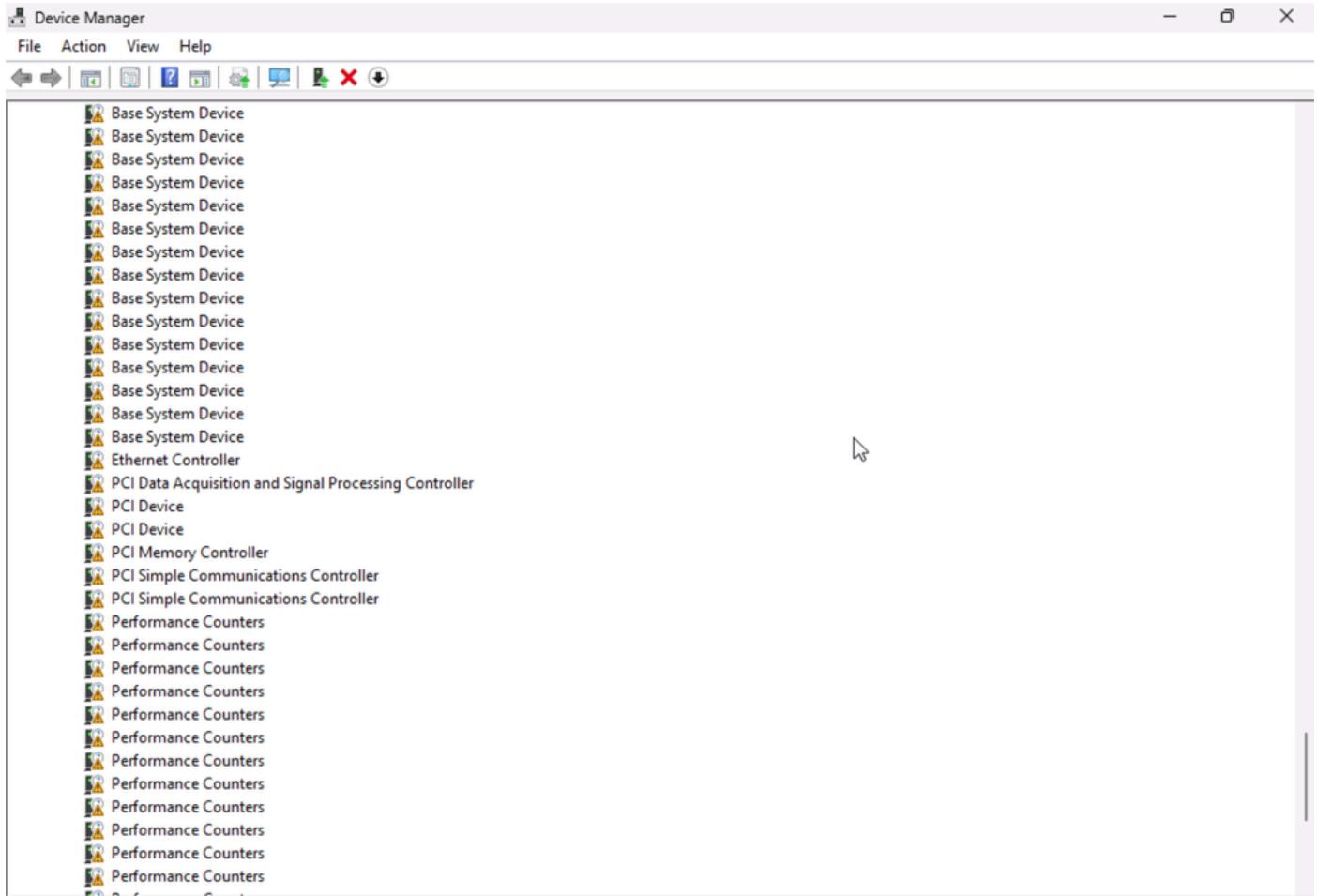
ステップ 7 ウィザードを実行して、インストールを完了します。

## ドライバのインストール

この時点で、Windowsには、サーバチップセットやアダプタコントローラなどのデバイス用にインストールされたデバイスドライバが必要です。

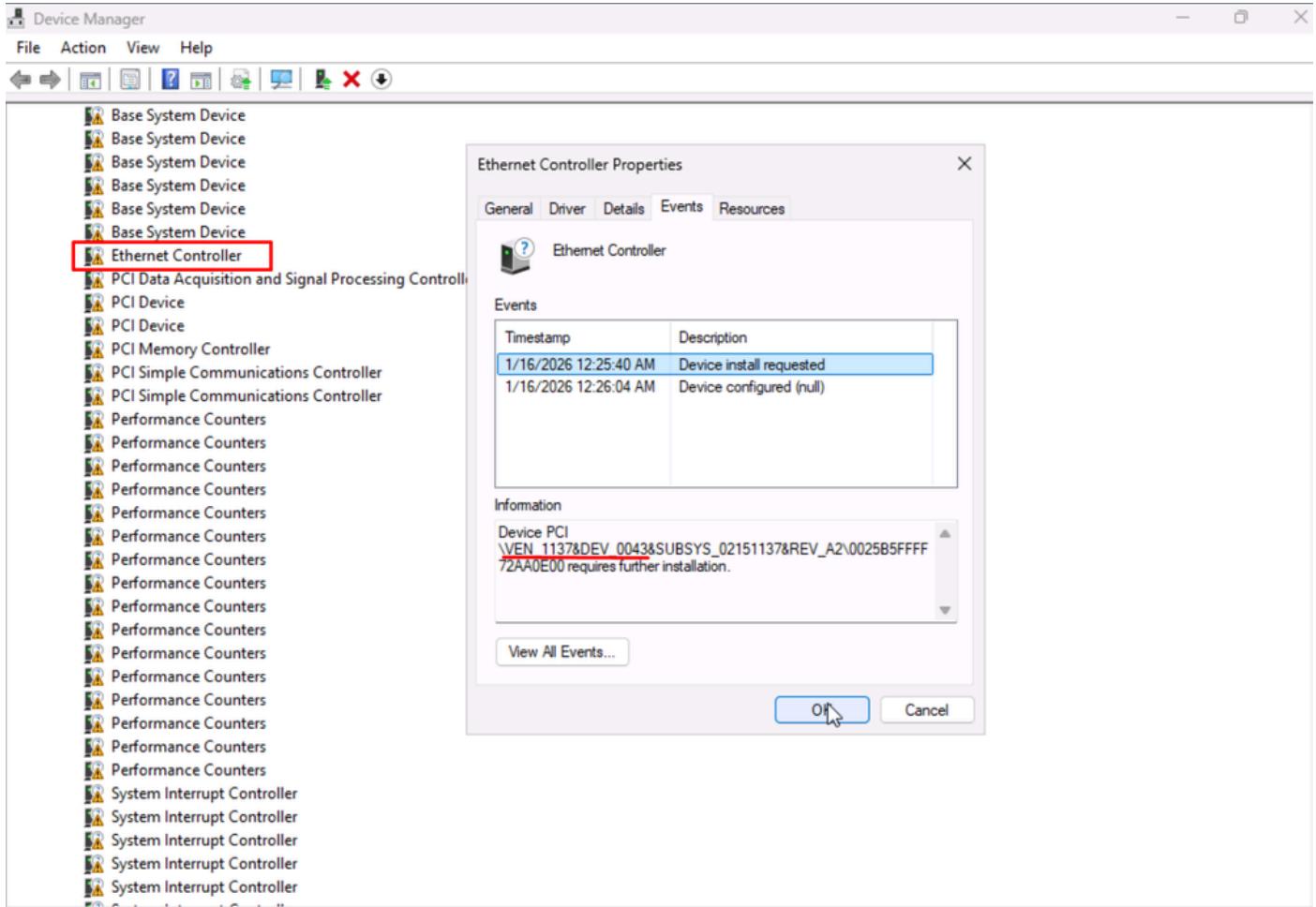
## デバイスマネージャを使用してドライバをインストールします

ステップ 1：デバイスマネージャで、まだドライバのインストールが必要なデバイスを探します。これらのデバイスには、黄色の警告フラグが付いています。



ステップ 2 不明なデバイスのプロパティを確認します。Eventsタブに移動し、デバイスのPCI情報をメモします。

ステップ 3 [Microsoft Update Catalog](#)に移動し、ベンダーおよびデバイス番号を検索して、デバイスの目的を把握します。これにより、どのドライバをインストールする必要があるかがわかります。



Microsoft Update Catalog							
Updates: 1 - 7 of 7 (page 1 of 1)							
Title	Products	Classification	Last Updated	Version	Size	Download	
Cisco Systems, Inc. - Net - 8/5/2014 12:00:00 AM - 3.0.0.8	Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2 and later drivers	Drivers (Networking)	8/4/2014	n/a	94 KB	<a href="#">Download</a>	
Cisco Systems, Inc. - LAN (Server) - Cisco VIC Ethernet Interface	Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2 and later drivers	Drivers (Other Hardware)	11/19/2013	n/a	345 KB	<a href="#">Download</a>	
Cisco Systems, Inc. - LAN (Server). Other hardware - Cisco VIC Ethernet Interface	Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2 and later drivers	Drivers (Other Hardware)	10/30/2012	n/a	84 KB	<a href="#">Download</a>	
Cisco Systems, Inc. - Network - Cisco VIC Ethernet Interface	Windows Server 2008	Drivers (Other Hardware)	5/2/2010	n/a	39 KB	<a href="#">Download</a>	
Cisco Systems, Inc. - Network - Cisco VIC Ethernet Interface	Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2 and later drivers	Drivers (Other Hardware)	5/2/2010	n/a	49 KB	<a href="#">Download</a>	
Cisco Systems, Inc. - Network - Cisco VIC Ethernet Interface	Windows Server 2008	Drivers (Other Hardware)	1/6/2010	n/a	38 KB	<a href="#">Download</a>	
Cisco Systems, Inc. - Network - Cisco VIC Ethernet Interface	Windows Server 2008	Drivers (Other Hardware)	1/6/2010	n/a	38 KB	<a href="#">Download</a>	

ステップ4 [ソフトウェアのダウンロード](#)で適切なドライバを検索します。マシンにISOをマウントします。

ステップ5 デバイスを右クリックします。Update Driverをクリックし、コンピュータで適切なファイルドライブを参照します。デバイスが認識され、正しく機能するように、ドライバをインストールします。

X

←  Update Drivers - Cisco VIC Ethernet Interface

Windows has successfully updated your drivers

Windows has finished installing the drivers for this device:

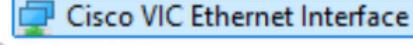


Cisco VIC Ethernet Interface

[Close](#)

File Action View Help

◀ ▶ |         

- ▼  WIN-Q04U80Q1TR2
  - >  Computer
  - >  Disk drives
  - >  Display adapters
  - >  DVD/CD-ROM drives
  - >  Human Interface Devices
  - >  IDE ATA/ATAPI controllers
  - >  Keyboards
  - >  Mice and other pointing devices
  - >  Monitors
  - ▼  Network adapters
    -  Cisco VIC Ethernet Interface 
  - ▼  Other devices
    -  Base System Device
    -  Base System Device
    -  Base System Device

## CLIを使用したドライバのインストール

このドキュメントの目的に従い、ネットワークカードドライバのみがインストールされています。

ステップ1：マシンが検出できないデバイスがあり、その中にはネットワークカードがあります。不明なデバイスを一覧表示するコマンドを実行します。

```
> Get-PnpDevice | Where-Object {$_.Status -eq "Error"}
```

Get-PnPDevice -Class 'Net'コマンドを実行して、ネットワークアダプタが表示されるかどうかを確認します。

```
> Get-PnPDevice -Class 'Net'
```

```
PS C:\> Get-PnPDevice -Class 'Net'
Status     Class      FriendlyName           InstanceId
----     ----      -----
OK       Net        Microsoft Kernel Debug Network Adapter   ROOT\KDN...
PS C:\>
```

ステップ2ISOファイルをマウントします。Virtual Media > vKVM-Mapped vDVDの順に移動します。ドライバのファイルを参照し、マップします。

ステップ3diskpartを使用して、次に示すようにdrivers with list volumeコマンドでディスクの場所を見つけます。

ステップ4 ドライバを含むファイルに移動します。この例では、nenicと呼ばれるイーサネットネットワークドライバをインストールすることを目標としています。 Network > Cisco > VIC > W2k25 > nenicの順に選択します。

ステップ 5 適切なパスに入ったら、`pnputil.exe`コマンドラインツールを使用してドライバをインストールします。`pnputil.exe -l -a .\*inf`コマンドを実行してドライバをインストールします。

```
G:\Network\Cisco\VIC\W2k25\nenic> pnputil.exe -I -a .\*inf
```

```
PS G:\Network\Cisco\VIC\W2K25\nenic> pnputil.exe -I -a .\*inf
Microsoft PnP Utility

Processing inf :          nenic.inf
Successfully installed the driver.
Driver package added successfully.
Published name :          oem0.inf

Total attempted:          1
Number successfully imported: 1

PS G:\Network\Cisco\VIC\W2K25\nenic>
```

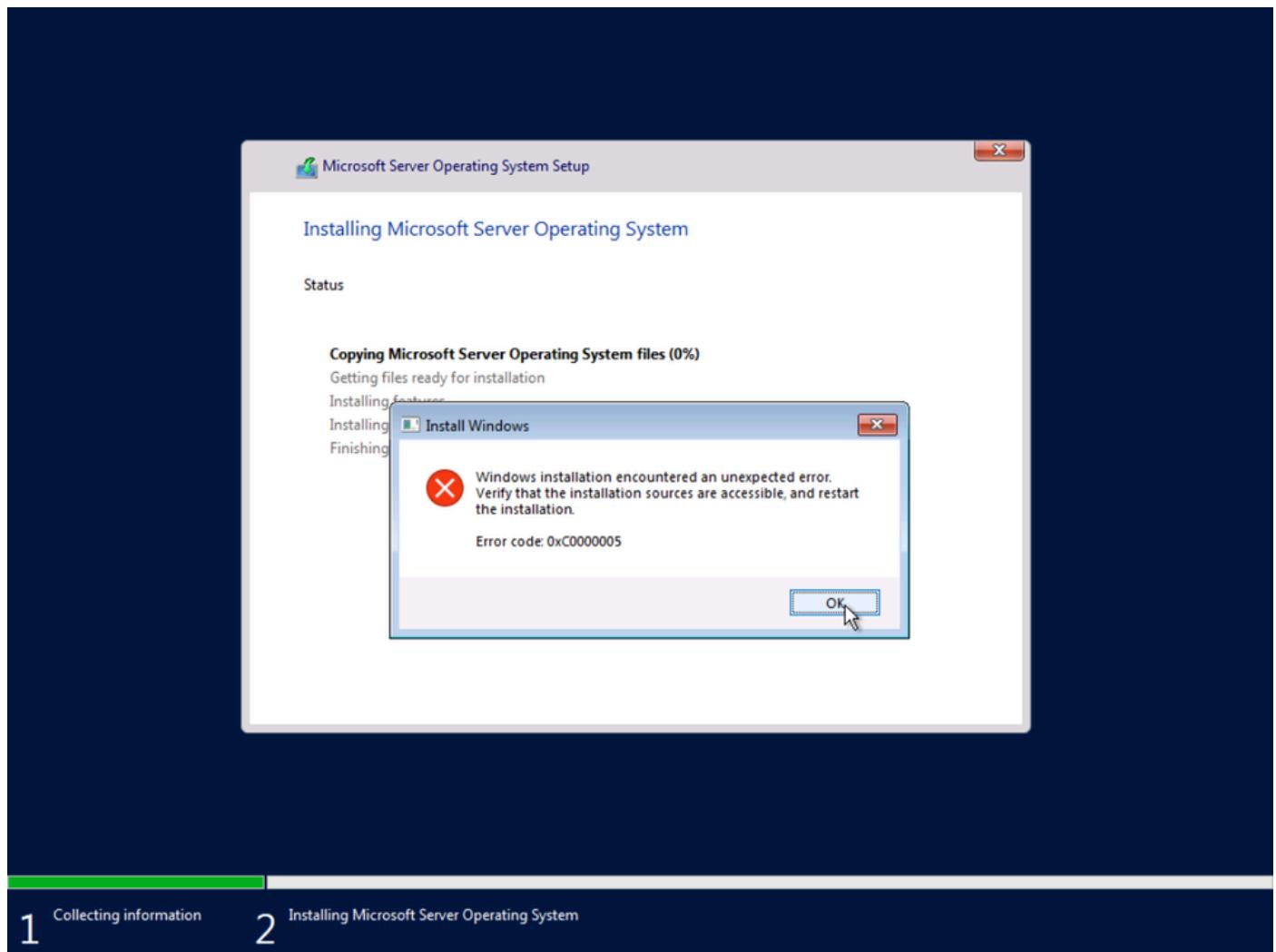
ステップ 6 デバイスが表示されていることを確認します。この際、Cisco VICイーサネットインターフェイスが表示されます。

```
PS G:\Network\Cisco\VIC\W2K25\nenic> Get-PnPDevice -Class 'Net'

Status      Class      FriendlyName           InstanceId
-----      ----      -----                  -----
OK         Net        Microsoft Kernel Debug Network Adapter
OK         Net        Cisco VIC Ethernet Interface
                                         ROOT\KDN...
                                         PCI\VEN_...
```

## トラブルシュート

リモートディスクにWindowsをインストール中のエラー

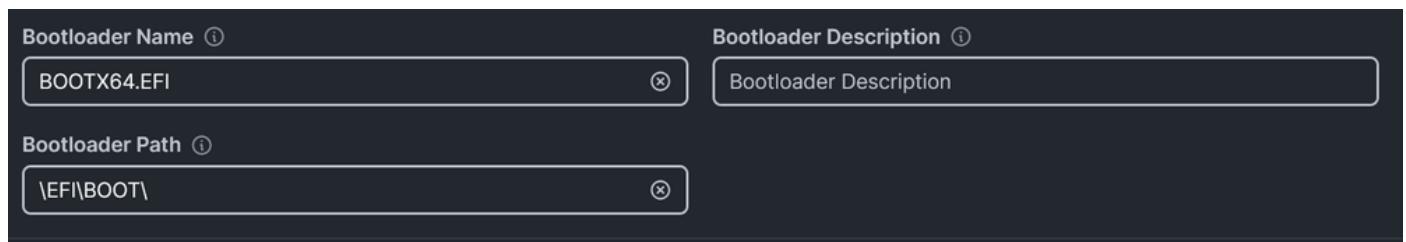


- サーバのマルチパスを無効にします。リモートストレージに到達するパスを1つだけ残します。

再起動後にサーバがシェルに移行する

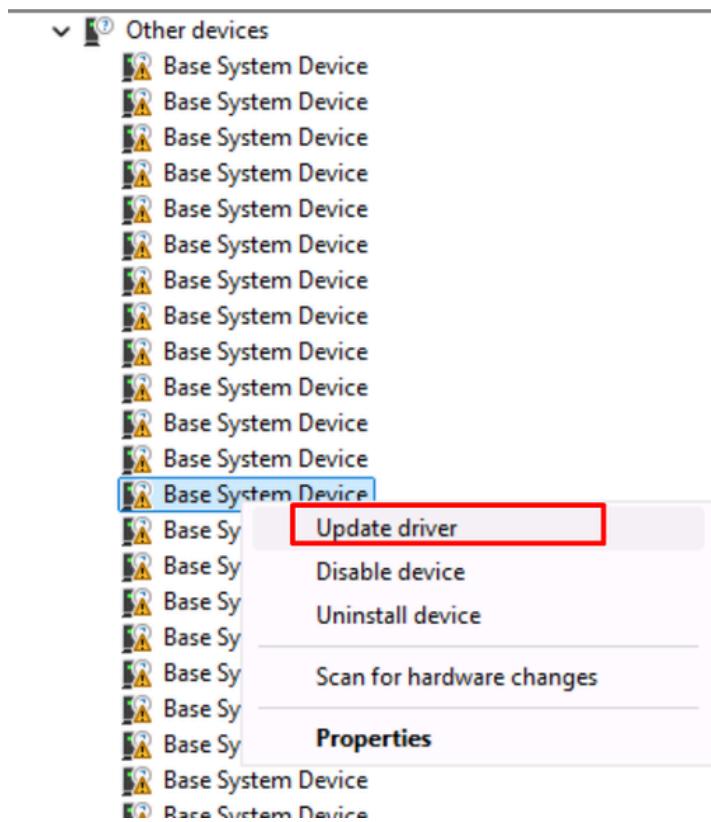
ブート順序ポリシーでブート可能なイメージのパスと名前を指定します。Windows の場合：

- ブートローダ名 : BOOTX64.EFI
- ブートローダパス : \EFI\BOOT\



## ベースシステムデバイス

ステップ 1： デバイスを右クリックし、Update driverをクリックします。コンピュータにチップセットドライバを参照してインストールします。



 Update Drivers - Intel(R) Xeon(R) processor P family/Core i7 Integrated Memory Controller - 2044



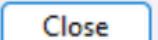
Windows has successfully updated your drivers

Windows has finished installing the drivers for this device:



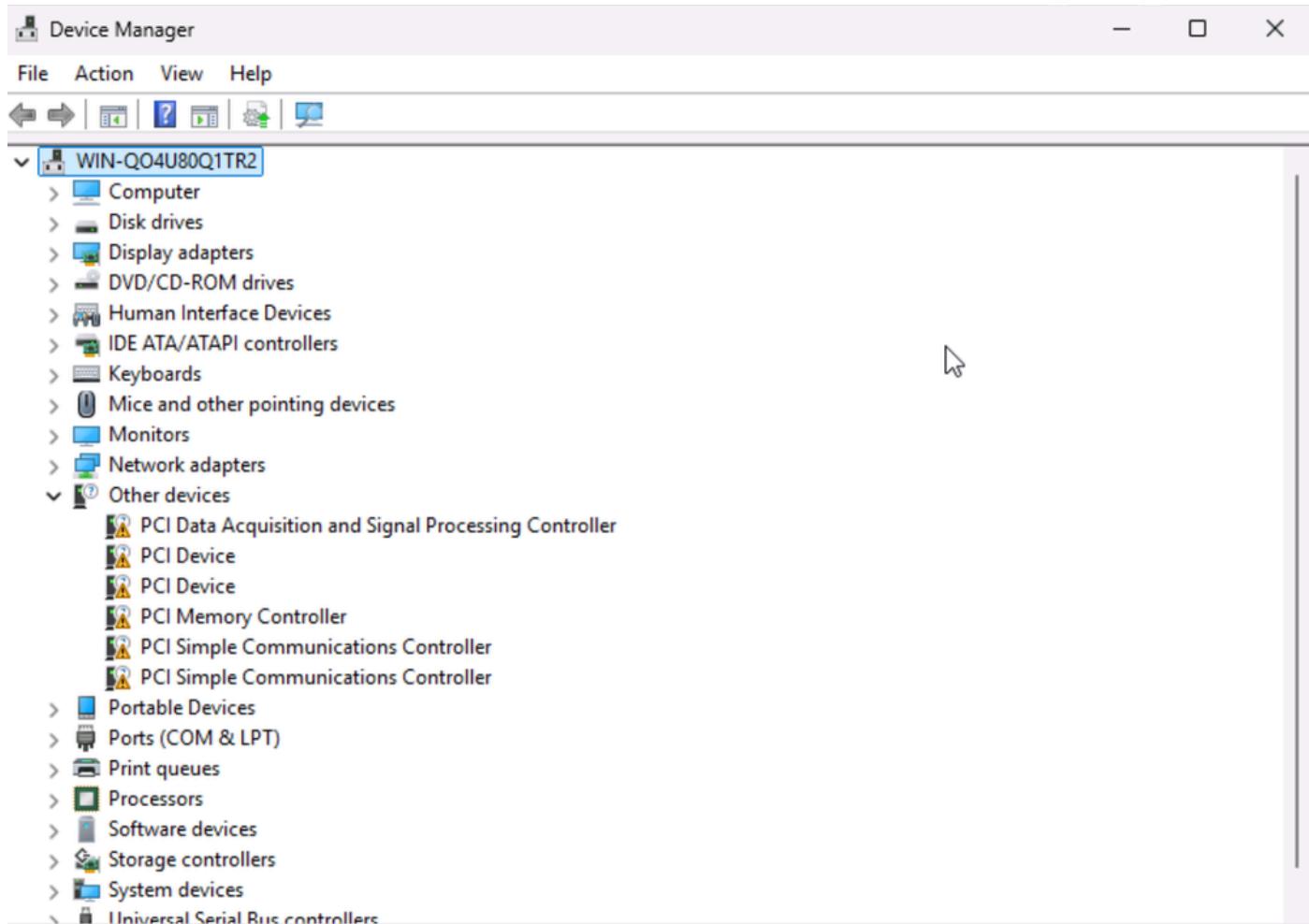
Intel(R) Xeon(R) processor P family/Core i7 Integrated Memory Controller - 2044



 Close

ステップ 2マシンをリブートします。

ステップ 3デバイスマネージャで、デバイスが認識されていることを確認します。これで、汎用デバイスが一覧表示されます。



## 関連情報

[サーバプロファイル – Cisco Intersight Help Center](#)

[サーバOSのインストール](#)

[Intersight Manage Mode\(IMM\)でのローカルストレージからのブートの設定](#)

[ドライバーパッケージ用PnPUtilコマンドラインツール – Windows ドライバー | Microsoft 詳細情報](#)

[Get-PnpDevice \(PnpDevice\) | Microsoft 詳細情報](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。